



Ferris University

2010 No.8

フェリス女学院大学同窓会会報



フェリスホール パイプオルガン

《聖句》

「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

ヨハネによる福音書 15章17節

あるエッセイ集

学院理事長 小塩 節



同窓会報には少しそぐわないかもしませんが、「たより」として心からの一筆、強いお求めに応えて申し上げます。此の春四月の半ば、軽井沢で九十六歳の堀多恵子さんが亡くなりました。軽井沢追分の教会での葬儀は遺言により、フェリス女学院評議員を長くおつとめくださったエッセイストの太田愛人牧師が、横浜から駆けつけてすべてを執りしきってくださいました。亡くなる直前にエッセイ集『雜木林のなかで』上梓（槐書房）。いくつものご本と同じく、この作品も実際に静かで美しい人ひとりの生涯と文とが亡き作家堀辰雄や、同時代の作家詩人たちの想い出、信州の自然の美しさや驚きと渾然たる一体となり、おだやかな作品に結晶しているのに感嘆します。九十六年という長寿とともに、このようなエッセイ集をもその生涯の終了直前に出版するということ、これを見事といふほかないません。

みずならや唐松の一本一本のたたずまいとげとげしい、とんがつた文章が多い現代日本の出版物の洪水のなかで、こういう慰めの深い書が世に出てくることは（他にも、いくつも、何人もいらっしゃるでしょうが）、わが日本の言靈の世界は、政治や経済の苦悩と無関係ではないけれども、まだまだ捨てたものではないな、と思うのです。堀辰雄・多恵子夫妻は重い病気を抱えていました。夫君を早く天に送ったあと夫人はその遺した作品と家を守り、最晩年の十年は家を文化財保護のため蔵書家具とともに軽井沢町に記念館として寄附し、みずならの林の中に小さいしかし暖かい家を建てて独居。その生涯と本書を含むいくつもの作品の中で、使徒パウロが言つているように「弱い中で強い」、福音の静かな証しを果たしていきました。

私どもも、どんなに辛い時があろうとも、弱い時に、弱い中で強い」フェリス人のようね。

も、それらの林の姿も、さりげないよういてとても正確。人についても国内外の土地名や史的事実についても、しっかりとうがとれていて一点の狂いも誤りもない。それでいて、ときみというものがいつさいなく、対象を愛のまなざしと筆でおだやかに描き出しています。これは凡手のかなうところではない、と溜息が出るだけではない。真に慰めの書です。

とげとげしい、とんがつた文章が多い現代日本の出版物の洪水のなかで、こういう慰めの深い書が世に出てくることは（他にも、いくつも、何人もいらっしゃるでしょうが）、わが日本の言靈の世界は、政治や経済の苦悩と無関係ではないけれども、まだまだ捨てたものではないな、と思うのです。堀辰雄・多恵子夫妻は重い病気を抱えていました。夫君を早く天に送ったあと夫人はその遺した作品と家を守り、最晩年の十年は家を文化財保護のため蔵書家具とともに軽井沢町に記念館として寄附し、みずならの林の中に小さいしかし暖かい家を建てて独居。その生涯と本書を含むいくつもの作品の中で、使徒パウロが言つているように「弱い中で強い」、福音の静かな証しを果たしていきました。

私どもも、どんなに辛い時があろうとも、弱い時に、弱い中で強い」フェリス人のようね。

も、それらの林の姿も、さりげないよういてとても正確。人についても国内外の土地名や史的事実についても、しっかりとうがとれていて一点の狂いも誤りもない。それでいて、ときみというものがいつさいなく、対象を愛のまなざしと筆でおだやかに描き出しています。これは凡手のかなうところではない、と溜息が出るだけではない。真に慰めの書です。

「創立一四〇周年に」

学院長 岡野 昌雄



フェリス女学院は今年創立一四〇周年を迎えることになりました。日本で一番古い女子校です。創立八〇周年のとき専門学校が廃止されて短期大学に、一九六五年に大学が始まりますので、いわゆる短大・大学だけを見ると新しいように見えます

が、どこからどこまでという切れ目がない、一つになつているのが伝統ではないかと思います。じつさい、一四〇年と言いかながら、その間ずっと居続けた人はいないわけで、学生・教職員も毎年入れ替わっています。校舎も建て替えられ、創立時のものは一つもありません。それで立派な林の中には、いつもフェリスは同じ一本の樹木のように生きて来ました。それぞれ異なつた時期に

過去がどんなに立派でも、夢と幻、将来への希望がなければ、わたしたちは生きられません。将来へとつながるからこそ伝統は輝くのだと思います。そうでなければ、ただ古いものを愛する骨董趣味になってしまいます。創立者に与えられた大きな夢と幻、それを継承して学院がこれからも輝き続けてほしいと願っています。

そんな思いを一つにできる機会として、二月一八日には、中高・大学の在校生、同窓生、教職員、さらには奨学会の人たちが一堂に会して全学院でクリスマスをお祝いしたいと計画しています。皆さん

月には退任しますので、短い年月かもしれ

ませんが、伝統の不思議をしみじみ実感していきます。大学で短期間講義を担当した以外は、礼拝や式典で学生に接するだけですが、卒業生の人たちと接する機会が多くなったせいか、フェリスらしさというものを強く感じました。木はその実によって知られると言われるよう、学院で学んだあと社会へと巣立つて行った人たちの活動を見る

ことによって、フェリスがどういう学校な

のか、よくわかったように思います。目に

は見えなくても、創立以来続いているカリ

スト教信仰に基づく教育という太い筋に支

えられて、女子だけの環境の中で自ずと育

成されるたくましさとおおらかさのような

ものです。

過去がどんなに立派でも、夢と幻、将来への希望がなければ、わたしたちは生きられません。将来へとつながるからこそ伝統は輝くのだと思います。そうでなければ、ただ古いものを愛する骨董趣味になってしまいます。創立者に与えられた大きな夢と幻、それを継承して学院がこれからも輝き続けてほしいと願っています。

そんな思いを一つにできる機会として、二月一八日には、中高・大学の在校生、同窓生、教職員、さらには奨学会の人たちが一堂に会して全学院でクリスマスをお祝いしたいと計画しています。皆さん

新たな歴史の風景に

—フェリス女学院
創立一四〇周年に寄せて—

学長 宮坂 覚



同窓会の皆様には、日ごろからお世話になり、衷心より感謝申し上げます。特に、6月1日の創立記念日のコミュニケーションには大変お世話になりました。大学、学友会、奨学会とともに名を連ねて頂きました。一五〇周年二〇〇周年に向か、フェリス女学院大学の新たな姿の緩やかな第一歩になればと思っています。

近年、歴史性とか、物語性とかが静かに話題になっています。時代が閉塞気味だからでしょう。一九七〇年代後半から八〇年代にかけて、「ルーツRoots」が、社会現象になつたこともあります。人は、未来に行き詰まつたり、不安になつたりした時、ルーツ(roots)すなわち、ことの起原、由来検証に向かいます。原点探求といつていいでしょう。近年の文化的風景は、このことと無関係ではないと思います。

現代における歴史的感性と鳥瞰(俯瞰)的感性の欠如に触れ、書いたり発言したりしてきましたが、歴史性や物語性が話題になるのは、これらの感性欠如が背景にあると思っています。「だれでもない」「だれでもよかった」「どいでもよかった」という言辞は

状況の深刻さを物語ります。歴史性や物語性が話題にされたのは、自分の居場所、立ち姿が不透明になっていることに自覚的になつたからでしょうか。歴史的感性とは、いうまでもなく、「私はどこから来て、どこに向かおうとしているか」と時間性の中で問う感性です。鳥瞰(俯瞰)的感性とは、時代の中で他者Othersとの眞の関係を見出す感性です。いわば、自分の人生の縦糸と横糸です。これらがなければ、自分の人生の物語は紡ぐことはできません。自分の眞の居場所や立ち姿を見る

ことはできません。近年は、間断なき時代の変化にタイトで余白のない生活を強いられてきました。強いられています。実際そうしなければ、社会に置きざりにされるような不安も確あります。その意味では、いま、歴史性や物語性が問われることは、心の復権、人間性の回復とも言えます。

私たちがかかるフェリス女学院は、一四〇周年を迎ました。フェリスが行き詰まっているとか、不透明というわけではありません。しかし、社会は病んでいます。だから、この機会に、歴史性や物語性を真摯に受け止めたいと思います。一四〇年前に想像を絶する困難な状況の中で事業を始めたキダーア女史に思いを馳せます。フェリスに流れる「日々新たなり」(コリント第一4:16~18)の精神に、モットーである「For Others: 他者のために、他者と共に」に思いを馳せます。縦糸と横糸とその物語を紡ぎ、決定的に支えつつあるもう一つの見える手に思いを馳せます。フェリス女学院創立一四〇周年に遭遇できた幸運の重さを、皆さんとともに共有したいと思います。

創立一四〇周年記念 クリスマス

◆

学院創立一四〇周年を記念して、中高、大学の生徒・学生、父兄、学院教職員、同窓生等の学院関係者一同が参加するクリスマスの集いを開催いたします。
中高、大学の聖歌隊、ハンドベルそれぞれの演奏もあり、参加者全員がともに祝うプログラムです。

● 日時：2010年12月18日(土) 10:30～12:00
● 場所：パシフィコ横浜 国立大ホール
* JR根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩12分、みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩3分

- 事前申し込みが必要です。
申し込み窓口は各同窓会となります。
(電話での受け付けのみとなります)
- 申し込みをされた方には、各同窓会より入場に必要な「招待状」をお送りいたします。
「招待状」は当日必ずお持ちください。



「学院をお支えくださる皆様へ」

(大学部会 五、九六一、三九六円)
(中高部会 一七、一七三、五一六円)

- 二〇〇九年度目標達成率…五十七・八%
- 会員数…三、一七五名(二〇一〇年三月末現在)
- 二〇一〇年三月末現在大学部会積立残高累計…三三、四五七、九六四円

今後も、学院の教育理念をできるだけ多くの方々に理解いただくために、「ご支援ご賛同いただき、会員数は初めて三、〇〇〇名を超えるました。

今後も、学院の教育理念をできるだけ多くの方々に理解いただくために、「ご支援くださる方々とのコミュニケーションを深めの工夫を続けていきたいと思います。

◆二〇〇九年度実績のご報告

厳しい社会情勢にも関わらず、在学生保証人、同窓会、奨学会、会員のみなさまから幅広いご支援をいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

厳しい社会情勢にも関わらず、在学生保証人のためのお料理教室(2月27日(土)、Fグループ主催)、ハートフルコンサート(3月20日(土))を共催し、ご来場のお客様から、参加費、ご寄付にご協力をいただきました。

維持協力会員、同窓会の方々と交流の場をもつことができたことは大きな収穫です。
ご関心をお寄せくださる方の輪が広がることを願っています。

【お問い合わせ・資料請求先】
フェリス女学院本部事務局

総合業務課 維持協力会担当
TEL：045-662-1451
FAX：045-651-14630
e-mail：hsoumu@ferris.ac.jp
学院HP：http://www.ferris.jp

Fグループ・りてら・りべるて 合同総会

2010年4月29日・フェリスホールにて



第八回合同総会は、新緑の美しい山手フェリスホールに於いて、約二〇〇名の会員をお迎えして開催いたしました。

今回は、大学礼拝に学生の皆様と共に参加させていただきました。大學宗教主任廣石望先生の司式により礼拝は行われました。「ヨハネによる福音書」15章1～10節を朗読し、「私につながつていなさい」と題してお話をされました。学生時代を懐かしく思い出された方も多かつたことでしょう。

次に同窓会を代表し、りべるて金子会長よりご挨拶がありました。今春も五六九名の新会員をお迎えした喜びと、本年、創立一四〇周年を迎えた学院主催の「フェリス女学院創立一四〇周年クリスマス」に、同窓会も参加させていただく事、そして同窓会は常に時代を見据えた活動をして行くので、皆様のご協力をお願ひする旨、話されました。

ご来賓の宮坂覺学長は、学院創立一四〇周年の今年、大学としては平和・女性・環境を柱にしたコミュニケを朝日新聞（6／1朝刊）に全面広告として発表するとのお話をされました。

岡野昌雄学院長は、私共に先ず「おかえりなさい」との温かい呼びかけからご挨拶され、十二月十八日パシフィコ横浜国際大ホールで行う学院主催のクリスマス礼拝についてお話をされました。

話をされました。

また、渡辺浪二文学部長、江上幸子国際交流学部長、藏田雅之音楽学部長にご出席いただきました。学院より、小松田貞利事務局長、秋山信義大学事務部長にご出席いただきました。学院より、続いて、音楽学部新卒業生によるフルート独奏と、ピアノ独奏をお聞きしました。

懐かしい記念撮影をして、フェリスホールを後

に、それぞれの会場で個別総会を開きました。

二〇一二年合同総会は、四月二十九日（金・祝）、山手で行う予定であります。



Fグループ総会

4月29日、本年は山手キャンパス・フェリスホールにて合同総会、そして12号館3階大会議室にて藏田雅之音楽学部長をお迎えてのFグループ総会となりました。本年度はまず、選舉管理委員会より太谷前会長の会長任期満了に伴い、2010年3月4日に学年幹事会で行なわれた会長選挙の結果報告と会長交代式が執り行われ、統いて熊本新会長より会長就任挨拶、4つの地方支部への支援とフェリスの音楽を盛り立てていきたいとの挨拶がありました。また、宮坂覚大学長、秋山信義事務部長、伊藤悦子山手事務室長よりご挨拶を頂き、その後、09年度会計報告、会計監査報告、10年度予算案、09年度活動報告、10年度活動予定が報告され、それぞれ承認され、ついで各支部長より活動報告がなされました。また授業日でもあったこの日、授業の合間に土屋広次郎先生にもご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

最後に藏田音楽学部長より、日頃の学部への支援を感謝するお言葉と、本年度秋開催予定の「山手の丘音楽コンクール」のお話をいたしました。

ただき、閉会となりました。

フェリスホールでの合同総会ということもあり、たくさんのFグループの会員の皆さまにご出席いただき、和やかな総会となりました。本年度も皆さまのFグループへのご参加を心からお待ちいたしております。

報告 吉田牧子・55回



第26回 りてら総会

4月29日（木）、フェリスホールでの全体総会の終了後、ホール地階のリハーサル室において、第26回りてら総会が開催されました。66名のご参加をいただき、サンドイッチを召し上がつていただきながら、和やかな雰囲気で、宇佐見副会長の進行で総会が始まりました。



3年間ご尽力くださった役員方のごあいさつ、2009年度事業報告・会計決算報告、次に新役員の紹介、ごあいさつ、新役員達が目指すこれからりてらについての具体的な方向が示されました。統いて2010年度の事業計画・会計予算報告がありました。

しばし自由にご歓談の後に、宮坂学長、渡辺文学部長、秋山事務部長のごあいさつをいただきました。

シヨップからのお知らせの後、お配りしたフェリスシールによると、当選のお知らせがあるプレゼント当選のお申込みがございました。そういう視点で活動を頑張って行きました」とメッセージが伝えられました。

同窓会は門戸を開いておかなければいけない。そういう視点で活動を頑張って行きました」とメッセージが伝えられました。

今年度の主席者は、委任状を含め1、711名でした。感謝と共にご報告致します。



第21回 りべるて総会

4月29日（木）、家政科記念館において、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶に続き、2009年度活動報告、決算報告、会計監査報告、活動計画案、予算案が審議、承認されました。

創立二四〇周年を迎えた本年、ご臨席の友井先生、宮坂学長、秋山事務部長のご挨拶の中にも、すばらしい建学の精神が、ゆるぎなく受け継がれて来た事を感じました。

宮坂先生が「フェリスで学んで良かつたという気持ちが、人生の励ましになる」とお話を下さった様に、私達同窓生がフェリスの想い出を心の癒しとして懐かしく感じるのは、フェリスの精神である『For Others』を通して他者への愛をお引き下さったからに他なりません。

役員代表を会長からも「元気な時もそうでない時も、行ってみたらいと、と思って頂ける様、同窓会は門戸を開いておかなければいけない」という視点で活動を頑張って行きました」とメッセージが伝えられました。

今年度の主席者は、委任状を含め1、711名でした。感謝と共にご報告致します。



一〇〇九年度卒業式

同窓会では、今年、●音楽学部 104名 ●国際交流学部 182名 の卒業生をお迎えすることができます。

● 大学院 20名 の卒業生をお迎えしました。



*ピアノ独奏

● R・シユーマン作曲

フルート協奏曲 op・30より 第1楽章

田島 寛子 漆間 有紀

山本紗英子

交響的練習曲 op・13より 第12練習曲

音楽学部新卒業生演奏



No. 39

〒231-0862
横浜市中区山手町68
フェリス女学院大学
音楽学部同窓会
(Fグループ)

Fグループの皆さまへ

Fグループ会長 熊本美也子（17回）



はじめてFグループ会報でご挨拶を申し上げます。

前任の大谷会長から役目を引き継ぎ、責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。同窓生と母校のお役に立てるよう微力ながら精一杯務めさせていただきます。皆様の御指導、お力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

山手の丘音楽コンクールに向けて

音楽学部長 藏田 雅之



音楽学部は一四〇周年の今年、山手の丘音楽コンクールを開催いたします。

この会報がお手元に届くころには、予選に向けて事務局も準備に入っていることをと思います。同窓会各支部のサポートをいただきこのコンクールが広く日本全国で予選開催できることを心より御礼

申上げます。

本年4月19日には、福岡日航ホテルチャペルにて、スプリングコンサートが開催されました。昨年に統いて同窓会九州支部29名による声楽アンサンブルにより、贊美歌や、ヘンデルのハーレヤが、宇内千晴先生のオルガンの響きにのって高らかに披露され、満員の会場から盛大な拍手がおくられました。

今後も同窓生とのコラボレーションを密に活動をしていきたく思います。

フェリス女学院大学140周年記念
羽ばたこう あなたの未来へ

YOKOHAMA
山手の丘音楽コンクール

開催日: 2010年10月30日(土)・31日(日)
会場: 横浜市立音楽文化会館

チケット料金: 1,000円(中学生以上) / 500円(小学校3年生以下)

2010年4月、Fグループは大学・大学院の卒業生116名を新会員に迎え、会員総数は約3,600名となりました。卒業回で言えば短期大学音楽科41回、大学音楽部となりトータルで59回を数えます。フェリスの音楽の長い歩みを思う時、社会の中にあって音楽という縦軸でいつも母校に支えられている喜びと感謝を感じずにはいられません。

Fグループでは毎年秋に「ジョイント・コンサート」「研修会」「ティータイム・コンサート」の三つの企画をご案内しています。同封のチラシをご覧になり、どうぞフェリスの丘に足をお運び下さい。

又、音楽学部主催「山手の丘音楽コンクール」の予選が8月末から全国で始まります。支部の皆様には準備段階から多大なご協力をいただき心より感謝いたします。本部では「Fグループ賞」を設け、入賞者の演奏を称えたいと思っております。

さらに12月には「フェリス女学院創立四〇周年記念クリスマス」がパシフィコ横浜国立大ホールにて行われます。これには入場券が必要です。事前にFグループ事務局にお申し込みください。

これらの開催日にあわせてクラス会や友人との再会等を計画されたら楽しいのではないでしょうか。

2009年度

音楽の贈り物

ジョイント・コンサート

09年9月23日 フェリスホール



お天氣にも恵まれ、まだまだ夏の暑さが残るなか、ジョイント・コンサートは開催されました。

今回はチラシやチケットの雰囲気を一新し、ピアノと声楽の方々、6組の同窓生をお迎えしました。新生のソプラノの方の瑞々しい演奏で会が始まり、続く皆さまもそれぞれ素敵な演奏を披露して下さいました。

それぞれの年代しか絞り出せない音楽があり、そのどれもが美しく、故に音楽の奥深さを感じるひとときは、弛まらず勉強を続けることの大切さをつくづく感じさせられる心温まる演奏会となりました。

今年は9月23日(木・祝)15時開演です。

山手フェリスホールまで是非皆様、足を運びくださいませ。(担当 海野美栄 44回)



研修会

09年11月24日 フェリスホール

昨年度のFグループ研修会は、世界で活躍のピアニスト、ダルトン・ボールドウイン氏による「歌手とピアニストのための公開レッスン」を行いました。

受講生は大学院生から幅広く、皆様とも丁寧な心のこもったトイツリートを演奏して下さいました。ボルドウイン先生もそれに応えるように、常に受講生に寄り添い、長きに渡る演奏活動で培

毎年9月開催予定のジョイント・コンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。(書類選考あり)

「11回生による楽興の時を求めて」と題し、ソプラノ下河邊宣子さん、三味線大谷園子さん、ピアノ藤村公子さんをお迎えし開催する予定でしたが、台風の上陸に伴いお客様と出演の方々の安全を考慮し、中止となりました。ご来場予定の皆様にはご迷惑をおかけ致しました。(担当 清水千晴 52回)

独唱58回・院在学中)・下條恵理子(ピアノ伴奏58回)・川越あさみ(クラリネット58回)・漆間有紀(ピアノ伴奏58回)

◆ジョイント・コンサート出演者募集

サートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。(書類選考あり)

◆ハートフルコンサート報告

10年井上千佳子 44回

10年3月20日(土)「感謝の春・ハートフルコンサート」中田喜直・杵屋正邦 恩師を偲んでー」を、山手6号館6-0-6教室で開催しました。Fグループの大谷前会長と中田元会長の出席として学院の配慮により実現しました。

プログラムは、中田幸子指揮のアンサンブル・フィオレッティによる女声合唱、杵屋花邦(大谷園子)と三花会 小輪瀬光代による三味線の演奏でした。珍しいプログラムでしたが大勢のボランティアに支えられ、フェリスらしいあたたかさに溢れる演奏会となりました。皆さまからお寄せいただいた15万円の募金は維持協力

つた豊富な知識とテクニックを惜しみなく教授下さいました。参加した全ての皆様が先生の一言一句に耳を傾け、ホール内がひとつになつたようなとても充実した研修会となりました。

開催にあたりご協力頂きました全ての皆様、また丁寧な通訳と素晴らしい演奏もして頂きまし

た大島富士子さん(28回)に心より感謝申し上げます。

会に寄付しました。ありがとうございました。
(報告 金出地佳代・55回)

Fグループ会長選挙報告 会長に熊本美也子さん(17回)が決定

去る3月4日(木)、フェリス女学院大学山手6号館6-3-2教室にて開催されました学年幹事会において、任期満了に伴う会長選挙を実施致しました。

会長候補は、推薦候補として熊本美也子さん一人でしたので、出席学年幹事全員による信託投票を行いました。

▼有効総数68票(出席28・委任40)▼信任68票以上の結果を持ちまして、Fグループの会前に従い、18名の過半数票をもって信任されました。熊本美也子さんに決定致しましたことをお報せ致します。

ご出席及び委任状をお送りくださいました、学年幹事の皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

●Fグループ選挙管理委員会
委員長・小島尚子(54回)
委員・川野とし子(8回)、篠原純子(14回)
四ツ倉緑(18回)、平井桂子(33回)

Fグループ2010年度コンサートのご案内

ジョイント・コンサート

9月23日(木・祝)15:00開演

於: フェリスホール ¥1,000

【出演者】

ヴァイオリン: 森田千草(59回)

声 楽: 伊藤久加(37回)、乾ひろ子(48回)

ピアノソロ: 増矢琴子(38回)、栗原明子(47回・院1回)

2台ピアノ: 池浦もと子・久保佐緒里(51回・院5回)

オルガン: 山口真理子(57回)

研修会

~シーウェルト作品のお話と演奏~

10月29日(金)17:00開演

於: フェリスホール ¥1,000

講師: 辛島輝治(ピアニスト)

出演: 辛島仔緒子(ピアニスト)

芳野靖夫(バリトン)

ティータイム・コンサート

11月11日(木)14:00開演

於: フェリス女学院大学山手6号館 ¥1,000

内容: カンタレ演奏

講師: 桑島実穂(28回)

<お問い合わせ・お申し込み>

Fグループ事務局(木曜日 10時~17時)

Tel & Fax : 045-681-6740

恩師を偲んで

青山三郎先生

岩元孝子（21回）

青山三郎先生は若き日、フランスとス。

インに留学し演奏者、又教育者として最後まで現役で、紀尾井ホールのリサイタル、弦楽器との共演等心に残ります。亡くなる二ヶ月

前まで京都と名古屋でもレッスンされました。最後に病床で残された言葉です。「もつ

たないです。もつともつと学んで下さい。

音楽を通して沢山の人と触れ合い素晴らしい交流が持てた事を、心から有難く思い深く感謝します。最後に、音楽ってとってもロマンティックね」【二〇〇八・九・二二】逝去】

江口元子先生 原田敦子（24回）

30年ぶりにお訪ねした時に私が縫つた服

を着て迎えて下さるような、やさしい心遣いをして下さる先生でした。レッスンの時も満

面の笑顔でゆったり構えて、決して怒らず、本番前に自信無げな私をあの豪快な笑い声で励まして下さるのであります。そして「声楽で大切なことは、心から楽しんで、自然体で歌うこと」と教えて下さいました。今も歌うたびに先生の声が心に響きます。先生の教えは私の生涯の宝です。どうぞ天国から見守っていて下さい。【二〇〇九・五・十一】逝去】

安藤友侯先生

根本正美（33回）

中部支部

支部長 牛込 まり（25回）

初めてお会いした時モーツアルトなどを弾きまくつて下さった事、1曲に3時間もかけたレッスンで2人共ヘトヘトになつた事、少年の様に熱く車両番号について語つたり、江浪さん（奥様）へのラヴレターの投函を青

北支部

玉田 幸子（12回）

5月8日、雨の降る中でしたが、札幌バプテスト教会の礼拝堂には大勢の皆様がお出で下さいました。平松英子先生の美しいお声が会堂いっぱいに流れ 素晴らしいコンサートでした。

私は初めてでしたが、たちまち平松先生のファンとなりました!! 近江先生の伴奏も平松先生の

お声に寄り添つて素敵でした。又、フェリスっ子

のお若い3人の演奏は 漆黒として、とても愉しく聴かせて頂きました!! 私の友人達からもの

夜は次々に感動感激のメ

ールが届きました。ここに、平松先生の快いご協

力による心地よい演奏と同窓会本部のご助力のお

陰を持ちまして、演奏会が盛会に終えました事を



支部だより

秋のコンサート

今年のふれっしゃは4名。秋のコンサート後や遠方の方も出てくださり、時間のない中で練習に励んで堂々と演奏して下さいました。



九州支部

支部長 安波 裕子（24回）

九州支部の活動も同窓会の輪が少しずつ広がり、参加者が増えてまいりました。昨年は大学との共催で、藏田先生、土屋先生、堀先生、立神先生、九州ボーカルアンサンブル（フェリオリンのデュオ、ピアノのソロ2名です。フェリスの先生とのコラボも定着してきました。フェリスを知つていただくチャンスになるよう頼っています。

た。元気と幸せな気持ちを持ち帰り皆、先生のファンになりました。

今年の本部総会での合意事項ですが、山口県がより近い九州支部に属することになりました。

同窓会等に参加され易くなれると思います。

近畿・中国・四国支部

支部長 一見 伊都子（18回）

4月16日、倉敷国際ホテルで総会を開きました。4月に入つてましたが、昨年度の活動と致します。参加者16名。出来るだけ会員の方々にミニコンサート

に参加して頂ける様に企画致しました。冷たい雨が降りしきる中、会場内

は日頃の成果が發揮され、パワフルなエネルギーに溢れていました。そしてご出席頂いた落合敦

先生に「フェリスの現状」をお話頂きまして、即興

《訪問演奏》

●4／25 橋高先生、土屋先生 ティータイム

コンサート（ホテル日航）

●10／12 オータムコンサートin九州（北九州市響ホール）

学部長と学校回り

《学校訪問》

●4／25 橋高先生、土屋先生 ティータイム

コンサート（ホテル日航）

●7／8 福岡の高校（10校）

●9／7 北九州の高校（8校）

長亀井直子、書記小串成美、榎田一与、会計三田留美子で運営してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



《フェリスグッズ作成、販売》

●ハンドベル、料理（毎月1回）

2010年度は、支部長安波裕子、副支部長亀井直子、書記小串成美、榎田一与、会計三田留美子で運営してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

from
once a student

卒業生だより

2009年度会計収支報告

<収入の部>

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	5,010,000
研修会会費	100,000	88,500
ティータイム会費	30,000	0
ジョイント会費	280,000	140,500
宛名シール	15,000	35,360
雑収入	50,000	182,132
小計	4,475,000	5,456,492
前年度繰越金	2,209,985	2,209,985
収入の部合計	6,684,985	7,666,477

<支出の部>

項目	予算額	決算額
(1) 運営費	1,690,000	1,442,955
会議費	30,000	16,750
印刷費	60,000	64,465
通人件費	150,000	128,388
交際費	550,000	586,440
事務品費	80,000	46,840
出張費	50,000	46,958
交学年幹事会費	100,000	89,360
特別委員会予備費	60,000	20,560
交学年幹事会費	330,000	387,500
特別委員会予備費	70,000	55,694
200,000	0	
(2) 活動費	3,200,000	2,396,438
総会関係費	600,000	532,878
研修会関係費	350,000	306,969
ティータイム関係費	130,000	25,756
会報関係費	750,000	555,408
ジョイント関係費	320,000	146,777
リサイタル後援費	100,000	70,105
支部関係費	550,000	551,450
慶弔関係費	200,000	122,499
予備費	200,000	84,596
(3) 諸会費	370,000	350,000
連絡会維持費	70,000	50,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4) 積立金	750,000	1,050,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	1,000,000
(5) 予備費	674,985	150,000
支出合計	6,684,985	5,389,393
剩余金		2,277,084
支出の部合計	6,684,985	7,666,477

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。

Fグループ会計監査 中田 幸子 井上 真記子

皆様、こんにちは。前回、子育て奮闘中レコードイング風景を書かせて載せていただきまして、あれから早8年となるのでしょうか！シンセサイザー・ミニピュレーターとして作品づくりを続け、この度CDをリリースさせて戴けることになりました。2人の子供と家事に追われる日々……、ヘトヘトになって寝つく時間から、漸く作品づくりが始まります。こうして僅かながら進んでもう中で、様々な御縁を神様から授けていただいたように感じます。

特に今回のリリースにあたっては、自身が音樂を通して何が出来るのか?!を考え、地球温暖化・自然保護について、ボルネオ政府観光局とのアーティスト(画家)の皆様との”絵画と音の世界”のコラボレーションとして、マレーシアの五つ星ホテルのスパ・リラクゼーションでの使用をきっかけとし、その売上の一部を自然保護にあてまいります。今、私たちが生かされていることへの感謝の気持ちが込み上げてまい

ります。人々が神様から与えられた日常の試練を乗り越え、学び気付いてゆく先にある喜び。辛くとも夢を諦めずにコツコツと続ける大切さ……。今こうして形にしてきたことが、同じ主婦の皆様の僅かな励みになることを願います。

最後になりましたが、今回のジャケットは、ボルネオのアーティストの方々、作品を聴き、描いて下さいました。環境や言語は異なっていても、互いの心に響き合うことのできる音楽の力に、改めて深く感動を覚えるひとときでした。これからも、日々与えられる日常をこなし、自分の役目に向かって努力を続けてまいりたいと思っております。

戸簾(富田)有重 (36回)
理(音楽字)学科卒、同大学研究科卒、音楽学部副手を務める。ドイツ、イギリス、オーストリア留学後、マニピュレーターとしてN.H.K.B.S.C.G.各種イベントの音色デザイン等(音楽)活動を展開している。

新リリースのCDジャケット

10年3月4日(木)山手6号館632教室出席人数28名、09年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、10年度一般会計収支予算(案)についての承認が行われ、各役員より09年度運動・報告等が選出されました。会はお天気にも恵まれ、和やかな雰囲気の中滞りなく進行し、茶話を楽しんだ後、閉会となりました。(報告)土屋友紀(48回)院3回

新役員紹介



土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(31回)
会計 金出地佳代(55回)
企画 吉田牧子(55回)
会計 楠瀬由佳理(35回)
企画 佐々木淑子(36回)
会報 本田綠(35回)
会員登録 白波瀬早百合(36回)
会員登録 近藤令子(25回)
会員登録 星野育子(24回)
会員登録 園子(11回)
会員登録 阿部真季(49回)
会員登録 小西和代(22回)

学年幹事会

新役員紹介

土屋

友紀さん (48回・院3回)

会長 熊本美也子(17回)
副会長 小林周子(29回)
書記 浜田祐子(3

大学の評価——今必要なもの——

文学部長 渡辺 浪二



これは望ましいことですが、その裏側には私語と携帯という怪物も潜んでおります。

現在の携帯はメール機能が勝つており、このことによつて学生は教室の外の空間と容易に、そして無限に繋がることができます。3・4年生

は外部からの評価、それもどのようなブランド評価がなされているかという情報であろうと思います。

たとえば日経BP社による結果によれば、有識者層や生徒・学生を家庭にもつ保護者において評価の高い項目は、「センスがよい」「一

流感がある」「ステータスが高い」「知名度が高い」「伝統がある」「儀正しい」などです。

これに対して、高校生の評価は質問項目に違いがあるために単純な比較はできませんが、「伝統がある」という評価が特徴的です。一般的にみ

て、年齢が高い層からの評価には好意的なものが多いように感じますが、高校生との評価には少しばかり違いがあるようです。

ところで、社会で活躍している年齢層の方と高校生の大学ブランド評価の背景には、現代の「大学生の日常」の認識に差異があるかもしれません。例えば、近年学生の授業への出席率が良くなつてきております。

一四〇周年記念クリスマス礼拝

同窓会室より

例年はカイパー記念講堂で、全同窓会によるクリスマス礼拝を行つていきましたが、

今年は学院が創立一四〇周年を迎える、生徒・学生と家族、教職員、同窓生が一堂に会しての礼拝を捧げます。

【日時】12月18日（土）10時30分より

【会場】パシフィコ横浜 国立大ホール
横浜市西区みなとみらい1-1

※ご来場いただくには、招待状が必要になります。

事前に、りてら同窓会室までお申し

込みください。

こちらから、招待状をお送りいたします。

より多くの皆さまのご参加をお待ち

まのご参加をお待ちしております。

りてら同窓会室は、緑園キャンパスの正面から、生き生きと行き交う学生さんや緑多い風景を楽しみながら直進した、一番奥の建物・体育館の3階にあります。大学の春・夏・冬期休暇を除く、毎週火曜日・木曜日の午前10時から午後4時まで開室しております。

大きな窓のある明るい部屋で、会議や打ち合わせ、作業など役員をはじめ各係の皆さんが出入りしています。

お問い合わせや住所変更、フェリスグッズの注文などには、事務担当の方が対応しています。

年齢も環境もまったく異なる女性達が、同じ学び舎で過ごしたという共通点だけで和やかに打ち解け、同窓会のため、母校のために：と、心をひとつにして笑顔で活動されている、素敵な空間です。

ぜひあなたも、ご参加くださいませ。



りてら 2009年度決算報告

(2009年4月1日～2010年3月31日)

●収入(円)

項目	決算
終身会費	15,180,630
預金利息	205,709
雜収	76,730
小計	15,463,069
前年度繰越金	33,269,333
合計	48,732,402

●支出(円)

項目	決算
事務用品費	24,161
印刷閲閲信通費用	388,084
会報会員費	3,619,599
会員連絡品費	1,369,341
会員連絡品費	233,043
会員連絡品費	542,335
会員連絡品費	444,240
会員連絡品費	6,614
会員連絡品費	56,442
会員連絡品費	80,216
会員連絡品費	685,725
会員連絡品費	307,683
会員連絡品費	32,600
会員連絡品費	8,641
会員連絡品費	236,895
会員連絡品費	4,000,000
会員連絡品費	0
会員連絡品費	17,640
小計	12,053,259
来年度繰越金	36,679,143
合計	48,732,402

監査の結果、適正なものと認めます。

監査 佐井久子
出口洋子

同窓生だより

”鎌倉市川喜多映画記念館“誕生

岡田 正代（55E）

ことし、フェリス女学院は、創立一四〇周年です。なんて素晴らしいことでしょう！この大きな喜びの年が、私個人にとつても、この上なく意義深いものになりました。四月一日、ようやく、ようやく、鎌倉に川喜多映画記念館がオープンしたのです。

一九九三年七月、川喜多記念映画文化財団の創設者、川喜多かしこが他界し、姪の私が財団を引き継ぎました。かしこは映画を深く愛し、映画には国や文化の違いを超えて人と人を結ぶ力があると信じて生き抜いたひとでした。そして最後に、かしこは夢をひとつ、私たちに託して逝きました。

長年住み慣れた鎌倉・雪の下の自宅跡に、たどえ小さくとも、映画文化の発信の場となるような施設を創つてほしい、というのが遺言でした。幸い鎌倉市が、かしこのこの夢を理解し共感してくださって、土地家屋の寄贈を受け入れて



正面入口



映像資料室（上映ホール）



展示室

「制服の処女」「赤と黒」「第二の男」等々で、ご来館の方々にとても楽しんでいただけました。この記念館は、世界の未来を担うこどもたちに、映画の面白さ、素晴らしさを伝えるとともに指しています。七月から八月にかけては、『夏休み子供企画』映画を知ろう・映画で遊ぼう”がテーマ。「赤い風船」「白い馬」「夏の庭」はもちろん、映画文化の施設であるからには無くてはならない上映設備も、席数五十一と小ぶりではありますが、しっかりと備えています。

そして四月、桜の開花とともに、開館記念特別企画『映画で世界を結ぶ』川喜多夫妻と想い出の名画』がスタートしました。六月まで三ヶ月の催しです。

展示は、第一期と第一期の二部構成。長政とかしこが輸入・公開した名作映画の数々を、珍しいポスターやスチール写真などで紹介し、また、ふたりが映画大使として国内外の人々と結ばれた糸を、手紙や献本などで展示しました。映画の上映は、「天井棧敷の人々」に始まり、

映画評論家の佐藤忠男さんや、字幕翻訳家の戸田奈津子さんなどに講演をお願いしていますが、今回はもちろん、「ひめゆりの塔」の香川京子さんです。きっと心に強く響くお話を

くださること期待しています。秋には、「鎌倉の映画人・小津安二郎の世界」、十二月には、「愛の日・クリスマス」と続きます。

情報資料室も、ぜひご紹介させしてください。ネーミングは物々しく、スターの写真集や伝記など、山揃えた、図書コーナーです。テレビ、パソコンも設置してありますし、広い開口部からは緑豊かな庭園も眺められ、ゆったりと過ごしていただけます。

開館当初から、記念館では、展示や映画の上映だけでなく、その時その時のテーマに沿つて、映画評論家の佐藤忠男さんや、字幕翻訳家の戸田奈津子さんなどに講演をお願いしていますが、今回はもちろん、「ひめゆりの塔」の香川京子さんです。きっと心に強く響くお話を

くださること期待しています。秋には、「鎌倉の映画人・小津安二郎の世界」、十二月には、「愛の日・クリスマス」と続きます。エリスが、戦後、いろいろと難しい状況になつた時、かしこも多くの同窓生の方々とともに母校のために尽力したようです。卒業して何十年経つてもなお、エリスへの愛と感謝を心に抱いていたからに違いありません。ですから、この”同窓生だより”は、川喜多かしこから皆さまへの、”天国からのたより”をお思いいただき、どうぞぜひ記念館へお掛けくださいませ。

エリスが、戦後、いろいろと難しい状況になつた時、かしこも多くの同窓生の方々とともに母校のために尽力したようです。卒業して何十年経つてもなお、エリスへの愛と感謝を心に抱いていたからに違いありません。ですから、この”同窓生だより”は、川喜多かしこから皆さまへの、”天国からのたより”をお思いいただき、どうぞぜひ記念館へお掛けくださいませ。

「制服の処女」「赤と黒」「第二の男」等々で、ご来館の方々にとても楽しんでいただけました。この記念館は、世界の未来を担うこどもたちに、映画の面白さ、素晴らしさを伝えるとともに指しています。七月から八月にかけては、『夏休み子供企画』映画を知ろう・映画で遊ぼう”がテーマ。「赤い風船」「白い馬」「夏の庭

」がテーマです。一九一七年、研究科を卒業して社会人になりました。そして母と妹たちとの生活を支え、しかも大好きな映画の仕事一筋に進めるようになったのは、在学中、エリスの先生方が、経済的に苦労しているかしこを励ました

づけ、英語や速記のスキルを身につけさせてくれましたからにほかならないと、終生感謝しております。

エリスが、戦後、いろいろと難しい状況になつた時、かしこも多くの同窓生の方々とともに母校のために尽力したようです。卒業して何十年経つてもなお、エリスへの愛と感謝を心に抱いていたからに違いありません。

ですから、この”同窓生だより”は、川喜多かしこから皆さまへの、”天国からのたより”をお思いいただき、どうぞぜひ記念館へお掛けくださいませ。

JR鎌倉駅

鎌倉市川喜多映画記念館
【開館時間】
9:00~17:00（入館は16:30まで）
【休館日】
毎週月曜日、年末年始、展示替期間
(月曜が休日の場合、開館し、翌平日を閉館)
神奈川県鎌倉市雪の下2-2-12
Tel: 0467-23-2500 Fax: 0467-23-2503
ホームページ: <http://www.kamakura-kawakita.org/>



川喜多かしこ
(1927年研究科卒)

りてらアーカイブ

りてらアーカイブ五回目は、糸川光樹先生に登場いただきました。その後、多彩な活躍をされ、現在もなお銅版画に熱中されていらっしゃるそうです。



糸川光樹先生

まず年譜風に記しますと、私は、一九七三年に上代日本文学担当の国文科教員として着任し、一九八一年に海外に転出するまで、フェリスのお世話になりました。続いて、シンガポール国立大学日本研究学科の初代学科長を勤めて四年後に帰国、明治学院大学に新設された国際学部に就職し、二〇〇〇年に定年退職しました。以来、同大学の名誉教授という肩書ですが、今は少々異なる作業に熱中しています。それについては後述します。

昨年、フェリス当時の私のゼミ生から突然連絡があつて「先生の喜寿のお祝い」を企画中の知らせを受けました。喜寿（七十七歳）の自覚はあるで無かった私

で、よくまあ、私の年齢なんかを覚えていて下さつたという感嘆も含めて、ます年譲風に記しますと、私は、一九七三年に上代日本文学担当の国文科教員として着任し、一九八一年に海外に転出するまで、フェリスのお世話になりました。続いて、シンガポール国立大学日本研究学科の初代学科長を勤めて四年後に帰国、明治学院大学に新設された国際学部に就職し、二〇〇〇年に定年退職しました。以来、同大学の名誉教授という肩

書ですが、今は少々異なる作業に熱中しています。それについては後述します。

突然連絡があつて「先生の喜寿のお祝い」を企画中の知らせを受けました。喜寿（七十七歳）の自覚はあるで無かった私

で、よくまあ、私の年齢なんかを覚えていて下さつたという感嘆も含めて、ます年譲風に記しますと、私は、一九七三年に上代日本文学担当の国文科教員として着任し、一九八一年に海外に転出するまで、フェリスのお世話になりました。続いて、シンガポール国立大学日本研究学科の初代学科長を勤めて四年後に帰国、明治学院大学に新設された国際学部に就職し、二〇〇〇年に定年退職しました。以来、同大学の名誉教授という肩

書ですが、今は少々異なる作業に熱中しています。それについては後述します。

突然連絡があつて「先生の喜寿のお祝い」を企画中の知らせを受けました。喜寿（七十七歳）の自覚はあるで無かった私

で、よくまあ、私の年齢なんかを覚えていて下さつたという感嘆も含めて、ます年譲風に記しますと、私は、一九七三年に上代日本文学担当の国文科教員として着任し、一九八一年に海外に転出するまで、フェリスのお世話になりました。続いて、シンガポール国立大学日本研究学科の初代学科長を勤めて四年後に帰国、明治学院大学に新設された国際学部に就職し、二〇〇〇年に定年退職しました。以来、同大学の名誉教授という肩

書ですが、今は少々異なる作業に熱中しています。それについては後述します。

突然連絡があつて「先生の喜寿のお祝い」を企画中の知らせを受けました。喜寿（七十七歳）の自覚はあるで無かった私

笛を吹いている様子が連想される。
〔現代語訳〕険しい坂で登ると膝が
くがくする) フェリスが懐かしい。
あの学園で花の薔薇のような学生たち
を育てた頃のことを思うと。

〔評語〕『花の園』は大伴家持を想起させる
が、歌は家持歌の品格に遠く及ばない。
つい、大風呂敷を広げましたが、そろそ
ろ畳まなければなりません。唐草模様の
この風呂敷は、あちらこちらで広げたた
めか、色褪せ擦り切れて薄くなってしま
いました。畳むと片手の拳に入る程度です。
そのように、私も、髪は色褪せて薄く、筋
骨も擦り切れ痩せましたが、でもまだ、
あの、瞼の裏のフェリス坂ぐらいは登れ
ます。では、皆さん、ご機嫌よう。

★四五二〇 久米蟬乃将見将見蟬乃夏蟬
乃熱吉禱道者將所忘八方

〔読み下し〕久米ゼミのみんみん蟬の
日には、歴代ゼミ生の四〇人ばかりが集
まつてくれました。後日、私は出席の皆

さんに礼状を送りましたが、以下にその
一部をご披露します。

――『万葉集』にこと寄せて、当日の
氣持を数首の歌に詠んだので見て下
さい。現代語訳や評語も付けました。
本文は『西本願寺本万葉集卷第廿一』

に依りました。

文中の『本賀寺』は『本願寺』の馱酒
落。万葉集は巻廿までですから『巻廿一』

は冗談です。続けて歌四首をならべまし
た(二首は省略)。上部の『国歌大観番
号』も冗談です。

〔評語〕「――」の反復が伸びやかな
階調を成している。芭蕉は「旅に病

んで夢は枯野をかけめぐる」と詠ん
だが、この日、私の枯野には花が咲

き乱れていました。

さて、私の近況ですが、続けて来た上代

文学関係の研究を纏めて、二〇〇七年に
『上代日本の文学と時間』(笠間書院)とい

う本を出版しました。続いて昨年『明暗
ある終章』(論創社)を出しました。後者

は小説で、夏目漱石の未完の作品『明暗』

を、私なりの空想で完結させたものです。

挿絵も自分で描いたのですが、今は銅版
画など「お絵かき」に夢中になっています。

次なる夢は、万葉集ではありませんが、全

行 事 予 定

【大学祭】

十一月六日(土)・七日(日)

緑園キャンパス

【一四〇周年クリスマス礼拝】

十二月十八日(土)

パシフィコ横浜 国立大ホール

【一〇一一年度総会】

一一〇一一年四月二十九日(金・祝)

同窓会室にお申し込みください。

【りてら同窓会】

開室 毎週火曜・木曜日 10時～16時
(大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)

住所 横浜市泉区緑園四一五一三
フェリス女学院大学内

○四五一八一二一八六九二
○四五一八一四一八九六六

メールアドレス lita@uraneus.dti.ne.jp
電話

FAX

事務担当 村田じゅん (74E)

内藤由美 (87J)

りべるて

Vol.22

家政科同窓会

皆様と共に

会長 金子 和恵



院・大学の企画に協力する取り組みをいたしております。昨年、学院と同窓会との会議の場として活用していただき、二月には、学院維持協力会主催による「男性のための料理教室」に家政科記念館をご利用いただきました。記念館においては、転居をされたり、住居表示変更で住所不明となられる会員が多くいらっしゃり、住所管理が重要な要素である同窓会としては苦心しております。お友達で郵便物の届かなくなつた方がいらっしゃいましたら、お手伝いください。宜しくお願いいたします。

日々の活動では、転居をされたり、会員が多くいらっしゃり、住所管理が重りべるて会員の皆様、お健やかにお過ごしでいらっしゃいますか。

今年も会報をお届けできますことは、寄稿並びに編集にご尽力くださいました方々のお陰と感謝申し上げます。

昨年、大學のお力添えで家政科記念館の全面改修をしていただきました。空調、システムキッチン、その他細部にわたり気を配つていただき、快適に活動ができるようになりました。私共も更に記念館を活用すべく、学

各種講習会も好評をいただいております。おひとりで参加されても、やはり同窓生はすぐに打ち解けて皆様楽しく過ごされていらっしゃいます。まだ参加された事のない方もどうぞ”はじめの一歩”を踏み出してください。



私は、同窓会はいつでも門戸を開いて活動しなければならないと思っております。こちらからは、会報で活動を知つていただき、クリスマスカードで学生時代のクリスマス礼拝を思い出していただければと思つております。

全国に、海外にお住まいの会員の皆様が、いつかまた、山手に行きたないと思つていただけるように、活動する事が大切だと思つております。

今年の総会に第一回卒業生がご出席になりました。”元気なうちにもう一度来たかった”とおっしゃつてくださりました。とてもうれしいことです。

どうぞ皆様も、山手にいらしてください。毎週木曜日は、家政科記念館を開いておりますので、是非お立ち寄りください。お待ちしております。



書記	北村周子	D 43
副会長	小倉由紀子	D 43
会計	遠藤木美子	D 45
総務	柴田千鶴	D 61
会計監査	石井克子	D 43
会計	近藤誠子	D 44
総務	鈴木初枝	D 44
会計監査	岩江真理子	D 51
会計	佐藤昌子	D 57
総務	浅見治美	D 43
会計監査	佐藤佑美	D 45

一一〇年度役員

活躍する同窓生

一七八番地アヒル坂 比企 寿美子



D 35

比企 寿美子

「活躍する同窓生」というコーナーに何か書くように申しつかり、果たして自分は今、活躍しているかと自問する。一日の始んどをコ

ンピューターの前に座り、午後は重い腰を上げワン公に散歩に連れて行つて貰つて、時たま国会図書館へ資料を探しに出かける。これ

では活躍しているとは言い難い。

半世紀ほど前 活気に充ちてフェリスに通い、元町を歩き周り、年に幾度かニューヨークランドでのダンスパーティで、ピンヒールを履いて活き活きと躍つた。そう、あの頃は確かに活躍していたと懐かしい。

元町からフェリスへの長い階段の路を、つづくるから」。

今年四月、卒業謝恩会も行われた古戦場のニューグランドホテル旧館に、古稀を迎えたクラスメート三十餘人が集つた。半世

紀ぶりの再会だつたが、よく見るとそれぞれ面影が残り、むかし話が大いに弾んだ。ここまで来たからは山手へ行こうと言うことを拾つて懐かしい校門で降りる。胸に溢れる郷愁で校舎を見上げ門の中に歩を進めようすると、こんなバアサマ四人が悪さをするはずはないと思うのだが、警備員さんに厳しく止められた。世の中は悪人が多すぎるので、せめて玄関前で写真だけでもと頼んでも、校門外からの撮影しか許して貰えず、すごすご退散するしかなかつた。

アヒル坂を登つてくるのは通学生たちで、私達はカソリック教会裏に住む寮生だつた。何時もお腹を空かせていて、トンネル手前のみつぼ、ジャーマンベーカリー、喜久屋へ行くのを贅沢な楽しみとした。横浜の女子大に娘を出す親許は総じてゆとりがあるだろうが、寮生はクレジットカードも無い時代、仕送りの中でのやりくりで、僕約を学んだ。後に主婦として家計を預かる身に成ると、この経験が生きた。

栄養学に育児学、生理学に調理、洋裁と、家庭を持ち初めて知る尊い勉強であった。私は嫁して夫の大家族と同居し、多い時は総計十二人の賄いに明け暮れたが、大学や寮で学んだ全てをそこで実践できたと思う。二人の子供が学校に行き手が離れると、

「癌を病む人・癒す人」 中公新書
●『航跡』『たった一人の卒業式』中央公論新社
●『アイシングュタインからの墓碑銘』 出窓社
●『続・私は日本のここが好き』 出窓社
●『ラジオ深夜便』 NHK出版 他

て「学ぶ」を選び、慶應義塾大学の聽講生となつて五年間通つた。だが年々学費が嵩んで、月謝の安いドイツ語学校に行くことにして、四十歳からかれこれ十五年ほど

ゲーテ・インスティテュートで学んだ。こもう書くと随分エラそうだが、けしてそうではなく、実を言えば大家族のための台所で

のゴキブリ的生活から、ひとときの逃避を図る、貴重な「私の時間」を探しての通学であつただけだ。

五十歳で、独訳の仕事を手伝つた本の紹介文を日本経済新聞に書いたのが、ノンフィクション作家である加藤恭子先生の目に

とまり、「書くこと」を勧められた。台所からコンピューター前へ、私の仕事にエッセイ

クが訪れた。

以来、せつせとエッセイを書いている。文藝春秋から毎年『ベストエッセイ集』が出版されているが、お陰様でこれまで七回これに選んで頂き、今年も八月出版の本年度ベストエッセイ集に選出されたと、先週ご通知を頂いた。単行本は、ほぼ二年一冊出し、他に共同執筆の本もある。しかし、物を書くことは『夕鶴物語』のお通が、自分の羽を抜いて布を紡ぐのに似て苦しい。この所増えた講演の機会も、書く以上の体力を準備に要する。何時までこの仕事を続けるのかと、溜め息をつく事が最近多くなつた。(ノンフィクション作家)

【著書】

旧家政科校舎見学会

昭和40年代まで授業で使われた旧家政

科校舎(現山手二号館)をもう一度訪ねてみませんか。現在は、学院本部として使用されていますが、老朽化しています。

そこで、当時授業をされていた友井先生にご案内をしていただきことにいたしました。見学後、家政科記念館で軽食の用意をしております。

どうぞ、お友達とご一緒にご参加くださいませ。

●日時・十月二日(土)午前十一時

●場所・フェリス女学院中高正門前
●会費・五〇〇円

*事前に電話で申し込みをしてください。

行事予定

十一月一日(火)・三日(水・祝)

フェリス祭参加バザー

十一月二十五日(木)

大森先生お菓子教室

十一月十八日(土)

フェリス女学院創立一四〇周年
記念クリスマス礼拝

二〇一年

一月十九日(水)

大村先生ステンドグラス教室

二月 矢吹先生北欧絵織物教室

横浜海岸散歩

学生の頃、横浜といえば、港・山手・元町・中華街でした。

今回は、港に沿つて歩いてみました。

昨年リニューアルしたマリンタワーは、みなとみらい線「元町・中華街駅」A4出口から直ぐです。イタリアンカフェやレストランも併設され、展望台へはエ

レベーターで60秒程です。まずは学校が見えるかしら……と。6号館に、中高の校舎も見えました。地上100mですから、お天気が良ければ新宿、東京タワー、東京ディズニーリゾート、房総半島、三浦半島、富士山まで見えるそうです。眼下に広がる横浜港、氷川丸、行き交う船

が小さく見えます。午後10時まで入場できるので、素晴らしい夜景を見るることができます。

マリンタワーを後に、いよいよ「開港の道」を歩いてみます。山下公園は、関東大震災後の復旧事業の一環として被災した瓦礫などを埋め立てられた公園です。氷川丸に、横浜駅東口から出るシャトルバスの発着場もあり、今は木々の緑と海の青がすがすがしい、散策するのが楽しい公園です。また、晩秋イチヨウが色付いた頃は風景が一変し、どこか外国に来たような感じがします。

昨年整備された象の鼻パークを目指し、「山下臨港線プロムナード」を歩き始めます。開港広場と大桟橋を繋ぐ道路を越えむと、象の鼻パークが見えてきます。

151年前、横浜が開港すると、東波止場と西波止場



現在の象の鼻の原型となりました。整備中に発見された、開港から明治にかけての遺稿（港の貨物線の軌道や転車台、石積の防波堤など）を、転車台強化ガラスの下に見ることができます。夜は照明施設となるスクリーンパネルが弧を描くように配置されています。パネルの側面には、みなとを造った偉人達の紹介も書かれています。横浜スタジアム2・5個分の園内には、横浜港を一望できる「開港の丘」が緑の芝生で広がります。一列に並ぶ石は、当時護岸で使われていた物で、座ることもできます。象の鼻テラスはひと休みに利用できます。看板メニューは、ゾウノハナソフトクリームと横濱ドック。横濱ドックには横浜の野菜とワインナー、清水屋ケチャップを使っているそうです。

更に、進んで行くと、左手に横浜税関「クイーンの塔」が見えます。右手前方には、赤レンガ倉庫を中心とした赤レンガパークがあります。赤レンガ倉庫も歴史を感じさせる佇まいが印象的です。

このまま道なりに、みなとみらいまで。時には潮の香りを楽しみながらのお散歩は心地よい疲労感を感じました。

今も発展を続ける横浜、古くて新しい街。
大好きな街。

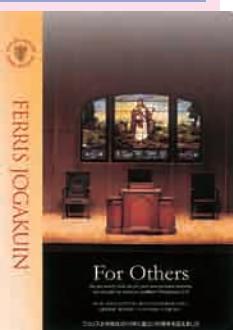
が作られました。その東波止場が少しづつ形を変え、現在の象の鼻の原型となりました。整備中に発見された、開港から明治にかけての遺稿（港の貨物線の軌道や転車台、石積の防波堤など）を、転車台強化ガラスの下に見ることができます。夜は照明施設となるスクリーンパネルが弧を描くように配置されています。パネルの側面には、みなとを造った偉人達の紹介も書かれています。横浜スタジアム2・5個分の園内には、横浜港を一望できる「開港の丘」が緑の芝生で広がります。一列に並ぶ石は、当時護岸で使われていた物で、座ることもできます。象の鼻テラスはひと休みに利用できます。看板メニューは、ゾウノハナソフトクリームと横濱ドック。横濱ドックには横浜の野菜とワインナー、清水屋ケチャップを使っているそうです。

●受付場所…家政科記念館
〒二三一一八七九〇 横浜市中区山手六八
郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。
●受付期間…十一月一日まで
毎週木曜日、午前十一時～午後三時
い未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださますようお願い申し上げます。尚、食料品、衣類は除外させていただけます。

献品のお願い

フェリスグッズ

- シルバー加工
カードケース 2,800円
- エプロン(黒・赤・茶)
各2,000円
- 140周年記念ファイル
(2枚組) 200円



《グッズ申し込み先》

氏名・卒年・住所(郵便番号)・電話・商品名・個数を記入の上、「家政科同窓会りべるて」まで
TEL・FAX (045) 662-0750

友井ゆり子先生のお料理教室



初夏の爽やかな風の吹く山手の丘で、りべるて主宰の友井ゆり子先生お料理教室に参加させていただきました。

今回、先生が教

えてくださったのは、料理の手間がかかれられない忙しい時にも美味しい料理を作る調理法です。メインディッシュと付け合せまでをフライパン一つで仕上げてしまう「チキンのスカラッピーネ」、炊飯器を使った「サフランライス」を作りました。鶏肉を肉たたきで2倍にのばせば肉は柔らかになる上に火通りも早く、調理時間の短縮につけて付け合わせまで調理するので洗い物も最小限、能率を考えたクイック料理です。

赤ワイン、バター、(バルサミコ酢)を使上げに使うことで、レストランのメインディッシュのような贅沢を感じさせる大変美味しい一品になりました。

なにかと慌しく過ごすこの多い日々であっても、食事は大切です。先生の料理への思いと現代の生活に即した調理法のアドバイスは、私達の日常を豊かなものにしてくださいます教えでした。心より感謝申し上げます。

(大森育子・D52)

大村先生のステンドグラス教室

1月20日、大村先生のステンドグラス教室が開催されました。

毎回、先生には素敵なステンドグラスの作品をお教えいただいておりまます。今回は、季節にあわせた和のティストで、ひな人形の製作でした。



思いましたが、先生がきれいにカットして下さった色のガラスを組み、ハンダゴテでつないでゆくと、扇面の上に男びな・女びなの立びながら徐々に形になり、仲よく並んだ姿はとても可愛らしく、思わずにつっこりとしてしまいました。

今年は、世界にたつたひとつの中ンドグラスのひな人形を一緒に飾つて、桃の節句を祝いました。

次回は、「月にうさぎ」を教えて下さい。

■2009年度決算報告書 2009年4月1日～2010年3月31日

科 目	金 額 (円)
受 取 利 息	6,843
事業費(グッズ販売、バザー)	602,295
名 簿 代 金	0
小 計	609,138
前年度繰越金	12,220,861
合 計	12,829,999
支 出	
寄 付 国 際 費	231,169
事業費(グッズ)	30,000
小 計	385,580
次年度繰越金	646,749
合 計	12,183,250
繰 越 金 明 紹	
定期貯金(株)ゆうちょ銀行)	2,641,000
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	1,468,015
通常貯金(同上)	691,991
普通預金(横浜銀行)	370,244
定期預金(横浜銀行)	4,000,000
合 計	12,183,250

■2010度予算 2010年4月29日

科 目	金 額 (円)
消 耗 品 費 (事務用) (その他)	120,000 10,000 110,000
旅 費・交 通 費	300,000
通 信・運 搬 費 (郵便料金) (宅急便)	1,020,000 1,010,000 10,000
印 刷・製 本 費	900,000
報 酬・手 数 料	2,000
会 議・会 合 費	100,000
諸 会 費	70,000
渉 外 費	130,000
雜 費	70,000
修 繕 費	0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2,712,000

会長 金子和恵



会計 仁井亮子



木田千鶴



監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2010年4月15日

監査 細川美佐



浅見治美



お願 い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が、増えています。変更がありましたら、りべるて宛、お知らせください。〇四五五六六一〇七五〇



■2009年度運営費報告書 2009年4月1日～2010年3月31日

科 目	金 額 (円)
基 金 運 営 費(学院より)	2,249,925
合 計	2,249,925
支 出	
消 耗 品 費	57,534
旅 費・交 通 費	295,070
通 信・運 搬 費	882,301
印 刷・製 本 費	836,117
報 酬・手 数 料	1,025
会 議・会 合 費	50,883
諸 会 費	50,000
渉 外 費	13,202
雜 費	63,793
修 繕 費	0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2,249,925
収 入 - 支 出	0

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2009年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告 (2009年4月1日～2010年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	1,055,810
全同窓会維持費 (50,000×4)	200,000
利 息	351
小 計	200,351
合 計	1,256,161
各支部(東京、西南、関西)への祝儀〔含 郵送料〕	60,320
支 クリスマス礼拝関連費	81,330
出 廉弔費(日本百合子様、気仙三様お花料)〔含 郵送料〕	150,590
備品購入	0
合 計	292,240
翌年度繰越金	963,921

翌年度繰越金は、963,921円です。

以上、ご報告申し上げます。

2010年5月 会計 Fグループ 944回 3月

クリスマス礼拝のご案内

《 日 時 》

2010年12月18日(土)
午前 10:30～12:00

《 場 所 》

パシフィコ横浜
国立大ホール

本年は学院主催のクリスマス礼拝に参加します。

警備上、招待状が必要です。

ご希望の方は、12月2日までに、各同窓会へ電話又はFaxにてお申し込みください。招待状をお送りします。

クリスマス礼拝(2009年) 献金先

献金総額	91,748円
日本ユニセフ協会	22,937円
日本キリスト教海外医療協力会	22,937円
難民を助ける会	22,937円
社会福祉法人日本医療伝道会	22,937円

日本ユニセフ協会	22,937円
日本キリスト教海外医療協力会	22,937円
難民を助ける会	22,937円
社会福祉法人日本医療伝道会	22,937円

創立一四〇周年 記念事業のお知らせ



一八七〇年(明治3年)にメアリー・E・キダーが、日本で初めての女子の教育機関を創立しました。

それから一四〇年。フェリス女学院は、二〇一〇年に創立一四〇周年を迎えました。

大学では、学院創立一四〇周年を記念し、年間を通して様々な記念事業を開催しています。記念事業全体を貫くテーマは、「平和・女性・環境」です。For Others の視点から、今日的な課題を様々な形で取り上げています。

創立記念日の六月一日に、朝日新聞に全面広告を掲載し、大学から世界に向けてコミュニケーションを発信しました。発信元には、フェリス女学院大学(文学部・音楽学部・国際交流学部)、フェリス女学院大学学友会、フェリス女学院大学同窓会(りてら、Fグループ、りべるて)、フェリス女学院大学奨学会の四者が名を連ねています。この四者がフェリス女学院大学を支えているからです。



朝日新聞への全面広告(6月1日付)

また、12月18日(土)には、パシフィコ横浜において、学生、生徒、父母、卒業生、教職員らが一同に会して学院クリスマス礼拝が盛大に行われます。詳細はP.3をご覧ください。(二〇一〇年の一年間、皆様の学生時代を思い起こしつつ、一四〇周年をお覚えください)。

一四〇周年を記念した取組の詳細は、大学ホームページの特設サイトでお知らせしています。ぜひご覧ください。

テレビでは、六月五日にBS朝日「GREAT ACADEMY」で、フェリスの歴史と未来への展望を紹介する特別番組が放送されました。

大学内では、一〇一〇年度前期に創立一四〇周年記念科目(学長提案)「フェリス女学院で学ぶ」ということ—For Others としての実践としての学問—を開講しています。

この科目は、大学の教員だけではなく、田部井中高校長や本学にゆかりのある研究者、社会で活躍している卒業生、さらに松沢神奈川県知事を含む、様々な観点からフェリス女学院について取り上げてもらうことで、学生に「For Others」の意味を自分のものとして考えてもらおうという試みです。さらに、日本文学国際会議、各学部・学科や学会のシンポジウム、講演会などのタイアップ、学外の学会の招致などを行っています。今後予定されている主な行事は、次のとおりです。

●私立大学環境保全協議会 第25回夏期研修研究会(8月5・6日)
●日本文学国際会議(11月19・20日)
●「山手の丘音楽コンクール」(本選は10月30日・11月3日)

